

早島町二酸化炭素実質ゼロ宣言

世界中が地球温暖化による危機的な状況にあります。

SDGsの目標13では、気候変動に具体的な対策を打つことを課題として明示しています。

早島町においては、地球温暖化対策の一環として、これまでに省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入に取り組みました。公共施設への太陽光発電の設置、照明器具のLED化、高効率空調設備等への切り換え、防犯灯のLED化などを実施しました。現在は、個人の住宅にスマートエネルギー設備等の設置を促進するための補助を行っています。また、フードドライブを活用した、資源の有効利用、焼却ごみの削減を始めたところです。

先日、私は大変嬉しい経験をしました。幼稚園、小・中学生の子どもたちが学習活動の成果を発表し、町政に提言する子ども議会の場で、多くの子どもがSDGsについて学び、町や地球規模での地球温暖化、環境問題について自ら考えたことを生き生きと発表してくれました。とても頼もしく思うとともに、この子どもたちと共に早島町の良い環境を残していかなければならないとの思いを強くしました。

早島町は、町民の皆様が、住んでいてよかったと思えるまちづくりを行っており、地球温暖化対策をさらに推進し、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを宣言いたします。

令和3年2月2日

早島町長

中川真寿男